



畑の面積 : 0,69 ha

Age of the Vines : 50 years old

Average annual Production : 5 000 bottles

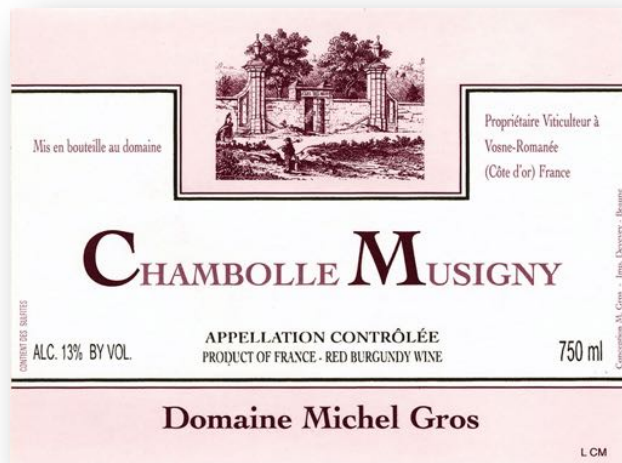
Grape Variety : Pinot Noir

2013 年はまたしてもブルゴーニュのヴィニキュロンたちに手厳しい試練を与える年となりました。醸造所に健康なブドウを持ち帰るためには、シーズン中、ベト病とウドンコ病との熾烈な戦いを強いられました。5月という季節を迎えても月間通じて寒々とした雨に見舞われ、そのことが大きく起因して収穫が遅れました。私たちのドメヌでは10月6日にヴォーヌ・ロマネの畑からブドウを摘み始め、17日にオート・コートで終わりました。この年より遅い収穫年といえ、1978年まで記憶を遡らなければなりません。開花後期の天候の崩れが原因で花振るいが多く見られ、殆ど全ての房がミルランダージュとなって小さな粒を纏いました。そのため、平年と比べ収量は30~40パーセント落ち込みました。しかし、このミルランダージュこそがヴィンテージを救うことになったのです。

7月に暑い日が差した以外はパツとしなかった夏の不順な天候下でも、負担の少ない小ぶりのブドウ房はパーフェクトに熟していってくれました。粒が小さく隙間があるミルランダージュの房でなければ、収穫前に続いた数日の雷雨でボトリティス菌が蔓延し、やっと目の前にした収穫物が壊滅していたかもしれせん。そして、果汁の少ないミルランダージュだからこそ実現した濃い色。結実不良により種が無かったり種のサイズが小さかったりすることが幸いた、タンニンの突出しないバランスがとれた自然の凝縮。

成熟が遅れ、比較的冷涼な気象状況のもとでブドウが熟成の最終段階を遂げた為、誕生したワインは濃いフルーツのアロマを丸ごとフレッシュに蓄え、夫々のテロワールの個性をくっきりと描いています。酸のレベルが高いことはワインの長熟性を示し、一方、低いpHで証明されたこの高い酸味は、タンニンがすでに溶け込んでいるリッチなテクスチャに抱擁され、テイasting上ではさほど目立たないのです。

結果として、2013年のワインはすでに誘惑的な魅力を呈し、ハーモニー、バランス、鮮烈な強さと緻密なアロマを持ち合わせています。ポテンシャルが高く、言うなれば1993年に類似する特徴があり、1993年といえ、今日飲んでもなお素晴らしい有望なヴィンテージなのです。



プレスレビュー

Sarah Marsh, Winter 2014, The Burgundy Briefing N°16
Again one third new oak. This was still finishing MLF so the tannins seem harder...and it was gassy. Dark fruit aroma. This has a much straighter, zesty palate. The tannins are tighter than the previous village wines, but ripe. There is plenty of tension; you feel the coldness of the Argillieres and the riper fruit from below the village. More apparent acidity...the malic. There is a touch of minerality on the finish. Score 16 at least, but to taste again. 16

Allen Meadows, January 15, 2015
Reduction flattens the fruit and renders the nose impossible to evaluate. The middle weight and lightly mineral-inflected flavors possess a slightly finer mouth feel before concluding in a bright and tension-filled finish where a touch of wood surfaces. This is an excellent villages and in particular I like the balance and restraint. Worth checking out. ♥

Bill Nanson, December 03, 2014
Here is a more obvious malo aroma ut the nose still has fine depth. There is plenty of gas, but behind is a little more freshness and energy than the Vosne - today it's hard to say more - except that the finish is fine enough.



今飲んで **90** ポテンシャル **91+** 飲み頃予想 **2019~2040**

ミシェル・グロの村名ワインの中でいつもポテンシャルが最も高く、この13年も例外ではなかった。で、香りは見事に閉じている。しかし、凝縮した完熟ブドウの黒みがかった風味と秀逸なミネラル感が漂う。口に含むとやはりこのキュヴェはお見事。他の村名ワインに比べて明らかに中身がより詰まっており、ちょっとした凝縮感がある。ただし、今は味も閉じ気味。けど、美味しさの要素がギュッと詰まっていることが分る。素晴らしい村名ワイン。1erを追う必要はない。(15年06月試飲)